

今回の探検先は… セレソ大阪

「SAKURA SPECTACLE～閃け。輝け。咲き誇れ。～」をスローガンに、3年ぶりにJ1昇格を決めた関西有数のクラブ。
 ヤンマースタジアム長居とキンチョウスタジアムをホームスタジアムとして、たくさんのサッカーファンへ驚きと感動を与えている。
 チーム名である「セレソ」は、大阪市の市花である「さくら」を意味するスペイン語。

●探検実施日：2017年3月30日(木)

ワクワクする探検の始まり！



サッカーに関わる仕事には、どんなものがあるのだろうか。そんな疑問を解消するため、18名の小学生たちが、舞洲にあるセレソ大阪のクラブハウスを探検した。

案内役を務めたのは、「僕もセレソ大阪で6年間プレーしていました」と話す、Jリーグ選手OBの鈴木さん。
 最初に向かった練習場では、見学に来ているサポーターの前で、選手たちが試合さながらに激しく体をぶつけ合っていた。その真剣な様子に子どもたちの目は釘付けに。
 「勝つためなのはもちろん、練習でいい姿を見せることで、試合にも来てもらえるから、みんな一生懸命なんです」

最高の状態でピッチに立つ

鈴木さんが、サッカー選手の仕事を教えてくれた。
 「簡単に言えば、試合の日に最高の状態でピッチに立ち、結果を出すのが仕事。でも、どうしたらそれができるか、すべて自分で考えないといけない」と語った。
 「勝利を選手だけでなく、スタッフ、サポーターと一緒に喜べるのが魅力。世界中で愛されているスポーツだから、海外で活躍するのも夢じゃない」と伝えた場面では、子どもたちも真剣なまなざしで話を聞いていた。



ピッチに花咲くみんなの努力 サッカーの舞台裏を学ぼう！

クラブを運営する資金は どうやって稼いでいる？



「サッカー選手の給料はどこから出ていると思う？」そう子どもたちに問いかけたのは、営業グループで活躍する赤堀さん。



セレソ大阪の運営資金は、スポンサーの獲得やグッズ販売、試合のチケット販売の大きく3つで成り立っていると説明し、その売上を増やすのが営業の役割だと話した。

「働いてよかったと思うのは、どんなとき？」という子どもたちの質問に対して、「やはりチームが勝ったときが一番うれしいです」と力強く答えた。トップチームを運営するだけでも、30億円の資金が必要だと話すと、子どもたちの目が真ん丸に。「クラブを運営するって大変」と驚きを隠せない様子だった。

サッカーの魅力に関西から発信



続いて、鈴木さんがテレビの仕事の説明した。「選手を引退しても、サッカーが好きだという気持ちで現役選手に負けていない。だから次も、サッカーと関わられる仕事を選んだ」と話し、現在制作に携わっているサッカー番組の映像の一部を流した。

すると、「この番組、知ってる！」「これ、見た！」と子どもたちから歓声が。「関西4クラブを特集した番組を通して、サッカーをもっと盛り上げたい」と番組制作にかける想いを語り、現役時代とは違う形でサッカーに情熱を燃やす姿を子どもたちに見せた。

通訳は選手の生活まで支える

鈴木 悟 (すずき さとる) 氏 1975年7月19日生まれ 静岡県出身
 <サッカー歴>
 セレソ大阪(1998年~2003年) / 京都パープルサンガ(2004年~2006年)
 ※2006シーズン終了後、現役引退
 引退後はテレビ番組の制作会社、株式会社インクスに就職。
 現在は朝日放送のスポーツ部に所属し、サッカー番組・Jリーグ二継などを中心に、野球・ゴルフなど、さまざまなスポーツに関わる仕事に就く。



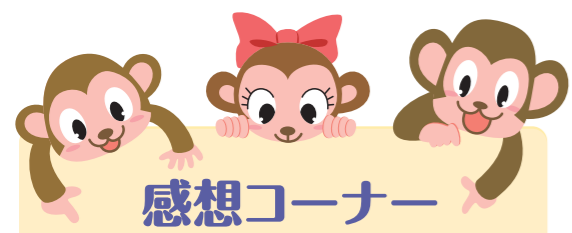
同クラブで英語の通訳を担当するウイリアムさんが通訳の仕事を教えてくれた。「通訳は練習や試合以外、どんなときに必要？」と子どもたちに問いかけた。「外国から来た選手にとって、異国の地の生活はわからないことだらけ。不安にならないように、生活面をサポートするのも大事な仕事のひとつです」と説明すると、意外な答えに子どもたちも興味津々。
 選手本人だけではなく、その家族へのサポートも欠かせないと話し、だからこそ今季より新規加入したヨニツチ選手が、入団直後から活躍しているのはすごくうれい」と目を細めていた。

サッカーの仕事は、 ピッチだけじゃない！

サッカーに関するさまざまな仕事に就く人々との出会い、探検を終えた子どもたちも満足げな表情を浮かべてアイテムに戻り、今日の探検で学んだことをグループごとにまとめて、保護者の前で発表した。「セレソ大阪では、約200人のスタッフが働いていると知って驚いた」試合場外や、テレビに映っていない人たちの活躍があるから、選手たちも活躍できるのだとわかりました」と感想を述べる姿は、朝より少したくましくなっていた。



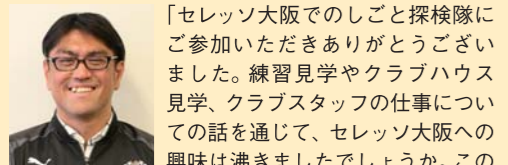
華々しい試合の数々は、たくさんの人の努力が支えている。子どもたちは、そんなサッカーの新たな一面を知ることができたようだった。



感想コーナー

- サッカーの試合をするのに、たくさんの人たちが支えていることがわかって、すごいと思いました。
- 選手以外にも、今まで知らなかった仕事があるの初めて知りました。
- たくさんの方の話を聞いたり、いろいろな場所に入れたりしてとてもいい経験になりました。

大阪サッカークラブ株式会社
 事業部 営業グループ グループ長 猪原 尚登さん



「セレソ大阪でのしごと探検隊にご参加いただきありがとうございました。練習見学やクラブハウス見学、クラブスタッフの仕事について話を通じて、セレソ大阪への興味は沸きましたでしょうか。この体験をきっかけにセレソ大阪を好きになり、スタジアムに応援にお越しいただければと思います。スタジアムでみなさんとお会いすることを楽しみにしています！」

●「アイテムしごと探検隊」ご協力のお願い
 訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会と一緒に提供していただけますか？
 お問い合わせはアイテムまで ☎0120-938-989

